

1 内政

(1) 新型コロナウイルス

- ア 保健省発表による現在のワクチン接種状況（2021年10月4日時点）
1回目接種済3,328,762人、2回目接種済2,227,814人、合計約560万人。少なくとも1回接種した人の割合は全人口の35%。
- イ 当国のワクチン到着の状況（計約800万回分）は以下の通り（2021年10月4日時点）。
- （ア）政府による購入：ファイザー社製約210万回分到着済（契約約710万回分）、ロシア製スプートニクV 8万6千回分のみ到着済（契約420万回分）、アストラゼネカ社製約100万回分到着済（契約140万回分）
 - （イ）COVAXファシリティを通じた無償取得：モデルナ社製・アストラゼネカ製・ファイザー社製（米国供与、スペイン供与（下記（カ）とは別）を含む）計約420万回分
 - （ウ）メキシコ政府からの譲渡：アストラゼネカ社製30万回分
 - （エ）イスラエル政府からの譲渡：モデルナ社製5千回分
 - （オ）エルサルバドル政府からの譲渡：アストラゼネカ社製約8万回分
 - （カ）スペイン政府からの譲渡：アストラゼネカ社製10万回分
 - （キ）ドミ（共）政府からの譲渡：アストラゼネカ社製約10万回分
- ウ 10月1日時点で、当国（人口約945万人）における感染者総数は367,275人、死者数は9,855人。（国家危機管理対策本部（SINAGER）発表）。

(2) 大統領選挙に向けた動き

- ア 9月6日、国内主要各紙はリブレ党の選挙集会で、大統領候補シオマラ・カストロ女史が「ホンジュラス再構成のための政府計画2022-2026（Plan de Gobierno para Refundar Honduras 2022-2026）」を発表し、就任後100日間に達成させる30の公約を公表した。以下、主要公約。
- （ア）就任初日に、憲法改正の是非を問う制憲議会を招集する是非についての国民投票委員会を設置する。
 - （イ）独裁政治を助長する法（国家安全保障委員会法、秘密保持法など）を廃案する。
 - （ウ）エネルギー公社（ENEE）、水道公社（SANAA）、電話公社（Hondutel）、港湾公社、道路公社など公社の国営化を実行する。
 - （エ）二重行政になっている省庁の再編を行うとともに経済社会開発計画省の

新設を実行する。

- (オ) 中国との外交・貿易関係を樹立する。
- (カ) 国際外部監査による、公的外債・内債への監査実施と再調整を行う。
- (キ) 政治的・恣意的に特権階級が利するような制度になっている免税制度の一部改定、廃止を行う。
- (ク) 中小零細事業者・貧困層への税金の廃止と大規模金融機関への増税を行う。
- (ケ) 最低賃金の改定と上昇を実行する。
- (コ) 憲法・法改正による教育基本法の廃止、教員組合規定改定、学校2部制復活、学校完全再開を実行する。
- (サ) 非正規雇用法、社会保障法の廃止と代替新規法案審議を行う。
- (シ) 汚職に対して軽減化された刑法を改定し、対汚職法の審議を行う。
- (ス) 国連と協調した対汚職・無処罰のための政府機関を新設する。
- (セ) デジタル政府を創設する。

イ 13日、OASのアルマグロ事務総長とホンジュラスのロサレス外相との間で選挙監視団 (Mision de Observacion Electoral (MOE)) 派遣に関する取決めへの署名式が実施された。アルマグロ事務総長は「今回は新しい選挙実施態勢 (nueva estructura institucional) で行われる最初の選挙になるであろう。MOEは選挙で相当数の人員を全国に派遣する」旨表明した。また、ロサレス外相は、選挙監視団の派遣は「大きな支援 (Gran Apoyo)」と考えていると声明で発表した。

ウ 30日、国内主要紙エル・エラルドはパラディグマ社による11月の大統領選挙世論調査 (第3回) につき報じたところ概要以下の通り (調査日9月14日～28日、母数3,355人、許容誤差1.69%)。

[質問] もし今日が大統領選挙の投票日であったならば、あなたは誰に投票しますか。

[回答]

ナスリー・アスフラ (与党国民党) : 22.7% (15.0%、7.7%増)

シオマラ・カストロ (リブレ党) : 18.7% (13.8%、4.9%増)

サルバドール・ナスラーラ (国民救済党) : 10.7% (7.5%、3.2%増)

ジャニ・ローセタール (自由党) : 5.5% (4.6%、0.9%増)

その他 : 2.7% (0.6%、2.1%増)

誰もいない (Ninguna) : 26.5% (30.7%、4.2%減)

わからない/無回答 : 13.8% (27.6%、13.8%減)

カッコ内は前回8月調査結果

(3) その他

- ア 16日、国立競技場で例年よりも規模を縮小した形で独立200周年記念式典が行われた。その中で主催したエルナンデス大統領は「今回が、大統領として最後の記念式典となる。独立の妨げとなる敵はいつもそこにいる。しかし過去と同様に、そういった者たちを勇気をもって撃退し続ける。これらの敵とは、犯罪組織であり、麻薬密輸組織であり、汚職に手を染めるもの達である」旨述べた。
- イ 29日付、宇宙航空研究開発機構（JAXA）と国連宇宙部（UNODOOSA）の支援で、発展途上国等に対して小型人工衛星の放出機会を提供する取り組みとして2012年に選定された、中米の「モラサン計画」の進展状況につき、ホンジュラス国立自治大学（UNAH）とコスタリカ及びグアテマラの大学が共同イベントを開催した。プレゼンテーションをおこなった専門家は、「技術者と学生との共同開発による『ナノ衛星』は2022年に打ち上げられるロケットから（国際宇宙ステーション（ISS）に持ち込まれ、そこから）放出される予定である。この衛星によって、将来的に早期警報システム等を通じた防災、気象の調査・監視が可能になる」旨、述べた。
- ウ 26日、ホンジュラス救済党国会議員候補サントス氏が、兄弟が麻薬密輸関与の疑惑があるという報道を受けて、立候補を取り下げる連絡を党本部に行い、党もこれを了承した旨報じられた。

2 外交

(1) 米国

8日、米国国家安全保障局（DHS）が、エルサルバドル、ハイチ、ネパール、ニカラグア、スーダン、ホンジュラスのTPS延長を発表したと報じられた。今年3月の時点でTPS資格者は米国内に32万人おり、うちホンジュラス人は44,600人にのぼる。当国ロサレス外相は「今回のニュースを聞いて満足している。しかし、米国の官報はまだ発刊されていないのでそれを待ちたい。聞いているところでは延長期間は2021年10月4日から2022年12月31日までとなる」旨述べた。

(2) 台湾関係

- ア 7日、台湾政府が、リブレ党の選挙集会で、大統領候補シオマラ・カストロ女史が公約を発表したと報じたことについてコミュニケを発表した。その中で同政府は中国の、派手で、虚偽の約束は、台湾と同盟国との外交関係を阻害するための戦略であることを考慮すべきと警告した上で、ホンジュラスの動向を注視し、80年前に築いたホンジュラスと台湾の外交関係を強化する旨、述べている。
- イ 台湾外交部アレキサンダー・ユイ副部長が外交関係樹立80周年関連行事出席

のため16日から18日まで来訪した。来訪目的は、当国が推進する、災害復興と持続的開発計画の3つのプロジェクトへの協力のための署名式典への出席である。同署名式典にはホンジュラス政府側からはマデロ統括大臣、ナハロ外務次官（国際協力担当）および関係各局長が出席、台湾側からは駐ホンジュラス「大使」が同席した。

（2）国際機関などその他

ア 第6回ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体 (CELAC) 首脳会議におけるエルナンデス大統領出席と演説

18日、エルナンデス大統領はメキシコで開催されたCELACに出席し、「災害と疫病」、「犯罪対策の成果と（自身の）麻薬密輸関与疑惑の否定」について演説をおこなった。

イ 第76回国連総会でのエルナンデス大統領による一般討論演説

22日、エルナンデス大統領は第76回国連総会に出席し、一般討論演説で「気候変動」、「新型コロナ」、「経済問題」、「汚職」、「米国との連携、麻薬問題」などのテーマについて演説を行った。

ウ エルナンデス大統領と国連事務総長との会談

22日、国連総会出席のためのニューヨーク訪問中のエルナンデス大統領がグテーレス国連事務総長と会談を行った。その中で「エ」大統領は、世界保健機構（WHO）改革や汎米保健機構（PAHO）の改革を求めた。また、「エ」大統領は気候変動に関連したテーマ及び気候変動により発生する洪水対策として治水のための国内16のダム建設に対する支援を求めた。これに対して「グ」事務総長は気候変動に対するホンジュラスとの連帯を表明すると共に、気候変動問題に世界各国が十分向き合っていないことに遺憾を表明した。

エ 第1回国連食料システムサミットへのエルナンデス大統領出席

22日、国連総会出席のためニューヨークに滞在しているエルナンデス大統領が第1回国連食料システムサミットに動画出演しメッセージを出した。その中で、「パンデミックやハリケーンがホンジュラスの保健システムに打撃を与え、食糧安全保障に危機を引き起こす深刻な食糧生産減少への脅威を与えている。そのため「エ」政権は、ホンジュラスの不平等を減らすための公平な生活への手段をプロモートするため、脆弱性に対するレジリエンスの強化などに取り組んできた。また、農村地域を主として教育、保健、貿易、栄養分野の「スマート・ワーキング」のためのデジタルプラットフォームへのアクセスを提供可能なデジタルインフラの投資を計画している」旨、述べた。

オ 第65回IAEA総会でのエルナンデス大統領の動画出演

20日、エルナンデス大統領が第65回IAEA総会に動画出演しメッセージを出

し、その中でホンジュラス国民と政府を代表して、IAEAが技術協力プログラムを通じてホンジュラスへの支援をしていることや、それが人材育成の強化につながっていることや、パンデミックやハリケーン被害に対する支援についても謝意を表明した。

3 経済

(1) 電力配電会社EEHに対する政府の介入決定

官民パートナーシップ事業監督事務局のレオ・カステヨン事務局長は、1日、EEH社の契約不履行につき政府の介入委員会が経営代行を行う旨の声明を発表した。

(2) 国際連合ラテンアメリカ・カリブ経済委員会（ECLAC）の経済調査報告書

ECLACが「ラテンアメリカ・カリブ経済調査：新型コロナ危機を超えた持続的かつ包括的回復のための雇用情勢及び雇用政策」の中でホンジュラス経済調査と予測をおこなった。

ア 2019年にホンジュラスGDPは前年比2.7%増加したものの、2020年は同▲9%であった。マイナス要因は、個人消費の著しい減少と、公共投資、民間投資双方の減少、外需の劇的な減少に加えてハリケーンの被害でさらに悪化した。

イ 政府の財政赤字は、経済悪化と、災害復興による公共投資増加の一方で歳入減少によりGDPの6.6%に上った（2019年同2.5%）。経常収支は、郷里送金の増加と需要の減少によって、GDPの2.9%黒字（2019年同▲2.4%）になった。インフレ率は4%（2019年同4.1%）でこれはホンジュラス中央銀行の予測値（の中央値、許容誤差1%）とほぼ一致した。ホンジュラス全体での年間平均失業率は10.9%であった。

ウ 2020年ホンジュラス政府は、右対策のための経済政策を実施した。生産部門と労働者援助法で、労働者への納税期間の特別延長と、零細中小企業の税特別控除が実施された。市場の流動性を確保するために国会は2020年度、2021年度の会計で計25億ドルの国債・外債発行を承認した。これにより債務残高はGDPの55%に上った。公共部門の債務制限は2021年、2022年はGDPの1%から、それぞれ5.6%と4.0%に引き上げられた。右より、パンデミック対策の公共支出はGDP比1.8%を占めることになった。

エ ECLACは、2021年のホンジュラス経済成長を5%と推定する。ホンジュラスの主要貿易相手国である米国の目覚ましい経済成長と、それによる国内経済の再活性化が主要因である。しかし、2度のハリケーン被害が国内産業に及ぼす影響と、コロナ禍が及ぼす経済へのダメージとワクチン接種プロセスの遅れは、経済成長へ悪影響を及ぼすことが予想される。財政赤字はGDPの7%に上る一方で、経済収支赤字は、2021年はGDPの3%と予測されてい

る。消費者物価指数は、世界的燃料価格上昇によって約4%と予測される。
 経済政策によって経済が回復すれば、失業率は10%を下回ると予想される。

(3) アエロメヒコのパルメローラ新空港への就航

アエロメヒコ航空は、メキシコシティとパルメローラ新空港を結ぶ新路線を12月から週3便（火、木、土曜日）就航させる旨、発表した。

(4) IMFスタンバイ取極等に係る第4次レビューの承認

IMFは13日、理事会でホンジュラス経済プログラム（2019年7月策定）の半年毎4回目のレビューを承認し、追加で1億2,580万ドルの財政支援融資の実行を発表した。

(5) 2021年のコーヒー収穫

今年度のコーヒーはホンジュラスの気候が良好であったことから収穫量も多くホンジュラスコーヒー協会（IHCAFE）によると輸出は760万袋（1袋1キントル＝約46kg、計35万トン弱）と想定しているが、加えて、国際価格が上昇しており、2020年当初1キントル当たり、125米ドルであった価格が、先週は204ドルであった。結果として、ホンジュラスコーヒー輸出総額は11億5700万米ドルに上る見込み。IHCAFEによれば、ホンジュラスコーヒーについては年々、気候変動の影響で収穫時期が早まっており、今後（コーヒーを摘む）農園労働者の手配時期などについて課題を残している。最盛期に必要な労働者は60万人で、コーヒー収穫時期には300～400レンピーラ/日の賃金が支払われるにも関わらず、ホンジュラス人は農園で働くことを嫌うのか、その事実を知らないからか、周辺国からの労働者でまかなっている。また、山間部の道路などの社会インフラの改修も進んでおらず必要となっている

<主要経済指標>

◇主要経済指標◇	2021年				2020年	2019年
	8月	7月	6月	5月		
インフレ率（前年同月比）	4.48%	4.26%	4.67%	0.84%	4.01%	4.08%
貿易収支（百万ドル）	—	△4,029.0	△3,421.7	△2,751.9	△2,557.9	△3,107.4
輸出（百万ドル）	—	3,126.3	2,647.4	2,173.6	7,683.4	8,718.3
輸入（百万ドル）	—	7,155.3	6,069.1	4,925.5	10,241.3	11,825.6
外貨準備高（百万ドル）	8,632.8	8,632.8	8,645.4	8,252.9	8,148.8	5,808.9
外国からの送金（百万ドル）	—	—	—	1,543.1	5,573.1	5,384.5
為替レート（対ドル月平均）	23.93	23.93	24.13	24.20	24.75	24.68

<出典：ホンジュラス中央銀行> ※貿易収支、輸出、輸入、外国からの送金は、

四半期毎に発表

(了)